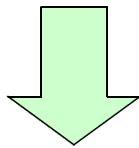


# 忘れ物が多い

## ある教室の中で・・・

小学4年生のC君は、宿題や持ち物の忘れ物が多く、いつも担任の先生から注意を受けています。



### どうしてだろう？

(推測できるつまずきの要因)

- 聞き漏らしがある。
  - ・大事な話に注意を向けられない。
  - ・他の音や刺激に注意が向いてしまい、大事な部分を聞いていない。
- 注意を持続できる時間が短い。
- 物事を記憶することが苦手である。
  - ・指示された内容などを覚えるのが苦手である。
- 整理整頓が苦手である。



### 今日からできる一工夫

- ① 指示を出すときには、クラス全体に対して私語をやめさせ教師に注目させてから話す。
- ② 指示する内容を具体的・端的に伝える。  
(言葉だけでなく、文字や絵なども活用する。)
- ③ メモを必ずとるように習慣化させる。
- ④ 所定の場所にチェック表を貼っておき、忘れ物防止をする。
- ⑤ ラベルを貼るなど、片付ける場所を明確にする。

- ◎ 忘れ物が多い子どもは、注意記憶の面※1や場面把握の面※2で苦手なことが多く見られます。自分の弱点に気づいて、対策を立てることが可能になると忘れ物も減ってきます。
- ◎ 教室の中での様々な音は注意集中の妨げやイライラの原因となります。静かにしている子ども達をほめながら、落ち着いた学級づくりを進めていきましょう。

※1「注意記憶の面」…言葉や数をすぐに覚えたり、注意を集中・持続させたりする力のこと。

※2「場面把握の面」…自分を取り巻く状況を客観的に判断し、どのように対応していくかを考える力のこと。